



JAL不当解雇撤回ニュース

No523号 2017.02.05
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekai.com>

広島 争議解決を求めています

2017年 1月11日

- * 広島市内オルグ & JAL 市内支店要請
- * 国労全国安全キャラバン @ ロードビル



1月11日広島県労連 門田事務局長の案内で、山口 JAL 争議団長はじめ原告 2 名は広島市内の民主友好団体 30 か所のオルグを行いました。また途中 JAL 支店で争議解決に向けての要請も行いました。

又、18時半から国労の安全キャラバン集会に参加し、山口団長が「安全性と公共性を元にした闘いの現状と展望」について報告しました。

2017年4月1日、国鉄がJRに移行して30年を迎えます。国労では国民生活に欠くことのできない公共交通機関として、改めてJR各社間で広がる経営格差、問題点、安全対策を検証しようと各支部で集会を行っています。山口団長からは、最近話題になっている「安全を脅かす民間航空の軍事利用」についても、楽しく分かりやすい口調で説明がされ、難しい話も笑いの中で皆さんの理解がなされたようです。

公共交通機関にとって、「安全」と「公共性」は欠くことのできない両輪です。そこで働く人の声を無視してはいけません。山口団長は常々「組合は「安全のセンサー」である」と言っています。



JAL 支店要請 1/11

前回同様オフィス内には入れてもらえず、エレベーターホールでの要請になりました。要請書を受け取った JAL 松信氏。写真左は広島県労連 門田事務局長

2016年 12月1日

* 働くものくらしと権利を守る 2016年争議支援総行動

2016年12月1日、争議支援総行動が行われ広島合同庁舎北側で出発式が行われ、地元で闘う4争議団の決意表明があり、その後、庁舎外周を50名でデモ行進しました。この行動には JAL 争議団当該は一人も参加していませんでしたが、デモ行進のアナウンスで争議概要を説明してくださり、シュプレヒコールでも「日本航空はベテラン乗務員を職場に戻せ！」と訴えてくださいました。また、当日は JAL 市内支店にも要請に行き、要請書を本社へ送ることを強く依頼してくださいました。

広島労連をはじめとする関係者の皆様、本当にありがとうございました。

政府の推進する労働者の権利を無視した労働法制改悪による「雇用破壊」の波は、企業の不当な「リストラ」「不当解雇」や「雇止め」に拍車をかけています。JAL 争議団は全国各地で闘っている労働争議の皆様と連帯して、争議解決を目指して、2017年も元気いっぱい闘います。